

# 文化プログラム検討部会報告

# 2020年までの東京文化プログラム 展開プラン(案)

文化プログラムの集大成として、  
大会3か月前から閉会までの期間に開催

**東京2020  
フェスティバル  
(仮称)**

レガシー  
の創出

フェスティバルと  
の一体感醸成

様々な発想を取り  
入れたプログラムを  
集中的に展開

文化プログラム全体を盛り上げる取組

・「東京2020文化オリンピック」などの、  
マーク活用による祭典気運醸成

東京芸術文化評議会及び専門部会の有  
識者等による審査（企画公募事業）や  
意見聴取を踏まえ、事業を構築

新たに展開する象徴的なプログラム

★「東京2020フェスティバル(仮称)」に向けた取組  
(企画公募事業)

★都民による芸術文化活動の場を生み出す取組  
(場の開放)

★世界的に発信できる新たな取組  
(パリ市との交流事業等)

東京文化プログラム  
助成メニュー拡充

東京文化プログラム  
助成開始

・都民の芸術文化に触れる機会の増大  
・地域経済や観光の活性化  
・世界から「芸術文化都市東京」として評価  
・人材や芸術文化団体等の成長  
・芸術文化の力が社会課題の解決に貢献

民間等に対する助成事業

★海外アーティストの新作発表、先端技術と芸術文化の融合、  
都民主体による大規模な文化活動の支援など

アマチュアからプロ  
まで幅広い層の  
助成事業を展開

大規模イベントの支援

東京文化プログラムの土台となるプログラム

大規模オペラ

中核となる事業を  
集中的に展開

東京キャラバン、TURN

リオにおけ  
る事業

都立文化施設における展示や公演、都響公演、東京芸術祭、上野「文化の杜」  
六本木アートナイト、伝統文化芸能体験、恵比寿映像祭、アール・ブリュット展他

平成28年度

★リオ大会

平成29年度

～

平成31年度

★ラグビーWC

平成32年度

★2020年大会

※平成24年度  
からアーツカウンシル東京による助  
成事業開始

※平成27年度  
からリーディング  
プロジェクトを展開

## 2020年までの東京文化プログラム 具体的な取組・事業

カテゴリー	事業の実施主体	具体的な取組・事業
<b>文化プログラム全体を盛り上げる取組</b>	都、歴史文化財団、都響、区市町村、民間企業、芸術文化団体等	「東京2020文化オリンピック」マーク（組織委員会が認証）、「beyond 2020プログラム」マーク（国等が認証）、及び「東京文化プログラム」の名称の活用により、文化プログラムへの参加意識を共有し、祭典気運を醸成
<b>新たに展開する象徴的なプログラム</b>	都、歴史文化財団、都響、等	★ 企画公募事業 「東京2020フェスティバル（仮称）」に向けて、若手からベテランまで様々なアーティスト等から企画を公募し、新たな発想を取り入れた斬新な事業を構築・実施
		★ 場の開放 民間企業等と連携し、自社ビル等の場を開放するプロジェクトを展開し、都民による芸術文化活動の場を創出
		★ 世界的に発信できる新たな取組 パリ市との交流事業（タンデム2018）や都響による誰もが楽しめる大規模なオーケストラ公演などにより、国際的な発信力を一層強化
<b>民間等に対する助成事業の実施</b>	民間企業、芸術文化団体等	「芸術文化創造発信助成」、「地域芸術文化助成」及び「芸術文化による社会支援助成」の各既存助成事業により、民間等による活動を着実に支援  ★ 「東京文化プログラム助成」のメニュー拡充により、海外アーティストの新作発表、先端技術と芸術文化の融合、都民主体による大規模な文化活動支援など、東京文化プログラムを重層化する『東京発の独自コンテンツ創造』を支援
<b>東京文化プログラムの土台となるプログラム</b>	都、歴史文化財団、都響、等	都立文化施設における展示や公演等を着実かつ効果的に実施
		都響を様々な場面で活用するとともに、大規模なオペラ公演を国や地方と連携して実施
		芸術文化拠点の魅力向上（東京芸術祭、上野文化の杜、六本木アートナイト等）や、観光振興との連携（伝統文化芸能体験等）、多様性の理解促進（アールブリュット展等）など、東京の芸術文化基盤となる取組を推進
		様々なジャンルや人々の混流を生み出す「東京キャラバン」の全国展開や、福祉施設や大学等との連携を強化して「TURN」の取組を充実

★印は、平成29年度以降の新たな取組

## (参考) 都が主導する文化プログラムの考え方

- 1 伝統と現代の共存をはじめとした独自性・多様性を持つ  
東京の文化を世界に発信
- 2 国際的な芸術文化交流を積極的に展開
- 3 障がい者、高齢者、子供、外国人等、国内外のあらゆる  
人々が参加・交流できる機会の創出
- 4 新たな発想を取り入れた芸術文化活動の推進
- 5 次世代を担う人材の育成
- 6 都市全体で文化的な祝祭感を創出
- 7 国、他の自治体、芸術文化団体等との連携・協力による  
オールジャパンでの気運醸成